

平成28年度 学校評価アンケート結果について

宮城県石巻高等学校 学校評価検討委員会

1 結果について

**生徒対象学校評価(H26:646名, H27:626名, H28:671名)**

質問項目		よく当てはまる+だいたい当てはまる(%)		
No	質問内容	H26	H27	H28
1	生徒が本校の校訓を知っている。	80.2	85.2	87.4
2	本校が生徒や保護者の学校に対する考えを聞く機会を設けている。	61.6	82.3	75.4
3	本校に良い特徴がある。	70.5	84.6	84.2
4	生徒の学校生活が充実している。	81.0	89.8	87.5
5	先生方が、熱心に日常の教育活動にあたっている。	81.3	86.5	84.3
6	先生方が、わかりやすい授業をするために工夫をしている。	73.1	82.3	79.1
7	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業が行われる。	60.4	74.0	66.0
8	生徒や保護者に災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えられている。	76.2	87.6	79.7
9	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	78.9	88.0	80.3
10	進路に関する情報が十分提供されている。	80.0	86.2	83.3
11	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	69.1	76.9	74.9
12	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができている。	80.9	87.8	85.9
13	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	60.7	72.0	70.7
14	ホームルーム活動が活発に行われている。	80.0	85.4	85.7
15	生徒会活動が活発に行われている。	56.2	77.7	64.8
16	自分にとって、有意義な学校行事がある。	81.9	88.6	89.3
17	部活動が活発に行われている。	86.1	92.2	94.5
18	校舎やグラウンドなどの施設や設備が整備されている。	78.8	88.1	85.4
19	施設設備が衛生的に管理されている。	82.5	90.2	86.9
20	生徒や保護者に学校の情報が適切に伝えられている。	78.0	87.3	86.3
21	地域の伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	64.7	75.4	77.3

**保護者対象学校評価(H26:535名, H27:582名, H28:511名)**

質問項目		よく当てはまる+だいたい当てはまる(%)		
No	質問内容	H26	H27	H28
1	生徒が本校の校訓を知っている。	88.4	89.3	92.2
2	本校が生徒や保護者の学校に対する考えを聞く機会を設けている。	78.0	85.3	85.3
3	本校に良い特徴がある。	87.6	91.5	93.3
4	お子さんの学校生活が充実している。	91.0	93.9	94.5
5	先生方が、熱心に日常の教育活動にあたっている。	88.4	92.2	91.2
6	先生方が、わかりやすい授業をするために工夫をしている。	77.6	82.9	81.6
7	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業が行われる。	72.5	79.9	79.6
8	保護者に災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えられている。	76.8	85.8	79.9
9	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	77.6	86.3	84.3
10	進路に関する情報が十分提供されている。	76.2	80.8	79.3
11	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	79.6	82.5	82.2
12	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができている。	86.6	87.5	89.8
13	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(～H27) 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。(H28～)	63.1	82.4	62.0
14	ホームルーム活動が活発に行われている。	89.9	91.7	92.0
15	生徒会活動が活発に行われている。	85.8	89.6	84.2
16	お子さんにとって、有意義な学校行事がある。	90.7	94.8	94.7
17	部活動が活発に行われている。	89.4	95.8	95.5
18	校舎やグラウンドなどの施設や設備が整備されている。	88.2	91.5	91.8
19	施設設備が衛生的に管理されている。	92.1	93.8	92.8
20	生徒や保護者に学校の情報が適切に伝えられている。	78.9	88.9	85.2
21	地域の伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	75.9	85.8	81.0

**職員対象学校評価(H26:47名, H27:39名, H28:48名)**

質問項目		よく当てはまる+だいたい当てはまる(%)		
No	質問内容	H26	H27	H28
1	生徒が本校の校訓を知っている。	78.7	89.2	87.5
2	本校が生徒や保護者の学校に対する考えを聞く機会を設けている。	70.2	83.8	87.5
3	本校に良い特徴がある。	80.8	81.1	85.4
4	生徒の学校生活が充実している。	93.0	91.9	93.8
5	先生方が、熱心に日常の教育活動にあたっている。	78.7	97.3	93.8
6	先生方が、わかりやすい授業をするために工夫をしている。	78.7	86.5	95.8
7	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力が身につけられるような授業が行われる。	74.5	81.1	89.6
8	生徒や保護者に、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えられている。	68.1	73.0	72.9
9	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	100	89.2	85.4
10	進路に関する情報が十分提供されている。	80.8	81.1	89.6
11	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	40.4	56.8	52.1
12	生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができている。	85.1	89.2	93.8
13	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	74.4	81.1	85.4
14	ホームルーム活動が活発に行われている。	68.1	64.9	64.6
15	生徒会活動が活発に行われている。	55.3	73.0	72.9
16	生徒にとって、有意義な学校行事がある。	87.2	91.9	93.8
17	部活動が活発に行われている。	85.1	86.5	91.7
18	校舎やグラウンドなどの施設や設備が整備されている。	78.7	81.1	81.3
19	施設設備が衛生的に管理されている。	87.2	94.6	75.0
20	生徒や保護者に、学校の情報が適切に伝えられている。	65.9	81.1	81.3
21	地域の伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	44.6	64.9	70.8
22	分掌どうしが密に連携して教育活動に取り組んでいる。	44.7	48.6	39.6
23	学年どうしが密に連携して教育活動に取り組んでいる。	32.0	59.5	47.9
24	教科どうしが密に連携して教育活動に取り組んでいる。	34.1	56.8	37.5
25	学年と分掌が密に連携して教育活動に取り組んでいる。	59.6	59.5	60.4
26	学年と教科が密に連携して教育活動に取り組んでいる。	53.2	56.8	68.8
27	分掌と教科が密に連携して教育活動に取り組んでいる。	44.0	48.6	45.8

## 2 今年度の課題について

今年度より、重要度の評価をやめ、実現度の評価のみとした。重要度の評価は、昨年度まで行っていたが、特別低い評価の質問項目は現れなかった。したがって、学校評価から除いても問題ないと判断した。

前年の学校評価アンケートの結果、本校の本年度の課題は以下のものであった。

- (1) 分掌間，学年間，教科間の連携を密にすること
- (2) 進路目標の明確化に向けた適切な指導
- (3) ホームルーム活動の活発化
- (4) 生徒の学ぶ意欲を引き出す授業改善
- (5) 生徒のマナー・基本的な生活習慣の指導

(1)に関しては、職員の質問項目 No.22 ～ 24 の評価結果を見ると、分掌間の連携に課題がある。学年間や教科間の連携に関しては、2年前よりは評価が上がっているが、昨年度よりは大幅に下がっている。情報共有が比較的できている学年と教科の連携に関する質問では、評価が高くなっているため、情報の共有が解決策であると思われる。(2)に関しては、質問項目 No.9 の結果から、生徒、保護者の評価は2年前より向上しているが、昨年度よりは下がっている。職員の評価が年度ごとに低下していることと職員の評価が生徒、保護者の評価よりも高いことが気になる点である。(3)に関しては、質問項目 No.14 の結果から、生徒、保護者の評価が高い。職員の評価が低いのは、生徒の自主的な活動が低下しているためであろう。(4)に関しては、質問項目 No.7 の結果から、保護者はほぼ横ばい、生徒が昨年度より低下している。職員の評価に比べ、生徒、保護者の評価が低くなっているため、授業のあり方や課題等に関する説明をもっと丁寧にするべきであろう。

(5)に関しては、質問項目 No.11 の結果から、生徒、保護者の評価はほぼ横ばい、職員が昨年度より低下している。この質問項目は職員の評価が生徒、保護者の評価よりもかなり低くなっている。職員が目指す基本的な生活習慣のあり方が、生徒、保護者とギャップがあるためであろう。保護者とのギャップがかなり大きいことから、保護者に、生徒指導等に関する学校側の基本的な考え方の理解をきちんと得られるように配慮すべきであろう。昨年度より、評価が大きく下がったのは、生徒は、質問項目 No.15 の生徒会活動に関するものであった。職員からの指導を通して、生徒会活動の今後の活発化を期待したい。保護者の評価が大きく下がったのは、質問項目 No.13 のいじめに関するものであった。今年から質問内容が変わったことが大きな要因と考えられる。今後、保護者に対していじめに関しての本校の取組方針の説明が必要である。職員に関しては、分掌間や学年間の連携についての質問項目で昨年度より大きく下がった。次年度以降も本校の課題に挙がることである。

## 3 次年度の課題について

1，2より、次年度の本校の課題としては次のことが挙げられる。

- (1) 分掌間，学年間，教科間の連携を密にすること
- (2) 生徒のマナー・基本的な生活習慣の指導
- (3) 生徒会活動の活発化
- (4) いじめ問題に対する取組方針の保護者との共有
- (5) 生徒の学ぶ意欲を引き出す授業改善